

のふねのりちやをきこ

やういふうおうして思ふはなをのふねらん
ふささの角のねんりてや所興のふにちのふん
は事長和年中の既成を知とまけけはちりし秘す
るの雌雄とふねをさやふりたと掩ふ以雄とふるこたより
あを掩ふ雌に

石をきこやういふふ南田に振中ふ武家にあつた
思ふのふき位えんりしとんて人ふやういふ

井ノをきこ山歌をきふ所賢とて

ふしをきこふにさうする将校のきや人のきやにはや

うしをきこふと云ふふをき

光孝天皇ににけき三の所ふ小松の所門とてけとふ山城
石河のきをきこふをき

翁ふ人なりとてふりてふふふふふふふふふ
米山のふねとぬるふのふふふふふふふふふ